

(答弁書の記載例) [ 答弁書作成にあたっては、別の注意書きをお読みください ]

平成 年 月 日

大阪府労働委員会  
会長

様

株式会社  
代表取締役社長 印  
(個人の場合は氏名)

## 答 弁 書

下記当事者間の平成 年(不)第 号 事件について、被申立人は次のとおり答弁します。

### 記

申立人 労働組合  
被申立人 株式会社

#### 1 請求する救済の内容に対する答弁

申立人が請求する救済に理由がないとするときは、「棄却」を求めてください。

申立が却下事由(労働委員会規則第33条第1項の各号のいずれか)に該当するときは、「却下」を求めてください。

#### 2 不当労働行為を構成する具体的事実に対する答弁

申立書の不当労働行為を構成する具体的事実に対して、申立書の項目に従って、「認める」「認めない(否認)」「知らない(不知)」という表現で、事実に対する態度を明確にするとともに、これに沿った反論や主張、法律論を簡潔に書いてください。